

学校長の願い

出会ったもの・ひと・ことに感謝しながら「あなたがいたから今の私がある」という「よりよい自分」を「おかげさま」の気持ちで実感できる子に。

児童の実態

○さわやかで気持ちのよい挨拶に努めている。
○係や児童会に意欲的に取り組もうとしている。
○仲良く遊んで、協力した喜びを感じながら生活している。
○自信をもって自分の考えを話したいと願っている。

令和3年度埴生小学校グランドデザイン

教育課題 唯聴心 心を聴くことのできる子どもの育成

～物事の本質や人の思いを汲み取ろうと心を寄せる態度～

〈めざす子どもの姿〉「すてきな埴生っ子になろう！」

〈重点目標〉人間力の向上 ~「自分で“よりよい自分”を創っていく力」を育む~

○「なりたい自分」から「なってよかった自分」へ

○「生かし生かされることの実感」

保護者・地域の願い

○やさしい思いやりのある子
○向上心のある子
○地域に愛着をもつ子ども

学校を取り巻く環境

○明治6年創立の千曲市で最大の児童数
○田園、工業、商業地が隣接
○PTA、地域の寄せる期待が高く協力的
○新しい住宅の増加

〈合い言葉〉

明るく

笑顔一番・感動の歌声

楽しく

みんななかよし・学び合い

元気よく

健康第一・元気にマラソン

〈重点活動〉

「笑顔あふれる明るいあいさつ」「ただひたすらに完全無言清掃」「心を一つに感動の大合唱」

支援と援助

＜校内支援会議＞

○ケースカンファレンス
○スクールカウンセラーやSSW、医療・福祉などの専門家との連携

教職員の資質の向上

【学級づくり】を重点に
○不登校、問題行動、家族関係発達障害(LD, ADHD, ASDなど)の理解
○Q-U(アセス)の実施と研修

子どもの多様性を包み込み、自己肯定感を高める

埴生学

～教科横断的系統的螺旋的連続的な学び～
・自分のふるさと埴生のよさを捉え直し、愛着と誇りがもて、自らの学びを紡いでいき、「埴生に生まれてよかった」という実感

【全校研究テーマ】「自ら考え方と学び合う子ども」

「主体的対話的で深い学び」…日々の授業改善
○子どもの意識の流れを大切にした「問い合わせある授業」
○グループ・ペア学習による「学び合い認め合う授業」

生徒指導が機能する学校生活

○自己存在感を与える
○共感的人間関係育成
○自己決定の場を与え、自己の可能性の開発

教職員の専門性の向上

○子どもの学びの道筋を読み解く教師の身体づくり
○学びの主導権を子どもたちに委ねる授業
○例外なく一人一人の学びの場を保障していく授業
○合理的配慮を提供する安心して参加できる授業
○信州型ユニバーサルデザイン1.0の推進

【重点研究; 人権教育】

＜人権教育研究テーマ＞
「もの・ひと・こと」と出会い・交わりながら、生かし生かされることを実感していく人権教育

基礎・基本の定着

○火金の朝「チャレンジの時間」
○ICTの活用
○毎日の読書活動
○家庭との連携
○家庭学習の内容共有

体力の向上

○一校一運動推進
○新体力テスト
○体育学習・体育的行事(運動会、マラソン大会等)
○そり、スケート、スキーレッスン
○課外活動の充実(ハンドボール班、陸上・水泳)

情報の公開

○校長室だより
○学年、学級通信
○ホームページ
○PTA新聞等

学校自己評価

外部の方の評価（学校関係者）

○学校運営委員会
○笑顔あふれる埴生っ子を育てる会
○学校保健委員会
○保護者アンケート・参観日懇談会

児童による評価

○児童アンケート
○個別相談
○学習カード(単元の見返し)

職員自己評価

○授業改善
○学級経営計画(計画の見返し)
○校務分掌の点検

地域とつながる

○千曲型コミュニティースクール 一つ一つの実績の積み重ね 具現化を図る

○地域参観日・PTA活動・引き渡し訓練
○ゆ~ゆ~(ボランティアお話しの会)・植樹祭、育樹祭等の緑の活動
○金管バンドの参加(地区行事)・納涼音楽祭・地区菊花展
○総合的な学習の地域講師・クラブ活動等学校ボランティアの招聘